



防振サスで新規ユーザーを次々と獲得！ その秘訣とは？

精密機器輸送のプロフェッショナル・エポックトランスポートにMRDが直撃インタビュー

下河辺社長 いま、空調車付きの4tですと外装の重量と、テールゲートに重量をとられてしまつて、実際には2トンちよつとしか積めないんです。

松田 社長さんのところも保冷車があるんですか？

下河辺社長 ええ。当然、うちは精密機器輸送に特化している会社ですから、エアサス車に空調機を付けて室温を一定にした状態で運ぶこともありますし、計測器も10年以上前に購入して、走行中の振動をチェックできるようにしています。

松田 10年以上前からね。(振動計測をしていることが)

下河辺社長 でも、車はエアサス車でも、車に積むまでと車から台車で運ぶ時にガタガタする振動、あれを何とかしたいと思つていました。

松田 道路を転がすだけでも、かんだんに10G以上出ちゃうからねえ。

下河辺社長 で、僕が考えていたのは、防振平台車。(エポックトランスポートさんの商品名にもなっています!)松田さんの防振台車の性能はよかったです。ポルサスは特にすばらしかったですね。

松田 初めの頃はまだエアサス(ボールサス)だったもんなあ。エアーの充填は社長さんから何度も「なんとかならないか」って、言われていた(笑)。でももう金属サスができてちよつたけど(笑)

下河辺社長 そうですネ、バルブ付きのボールを僕が見つけてきて支給したり、エアーを入れるのに防振平台車の裏面パネルに穴をあけてくれ、って頼んだり。いろんなこと要求しましたよ。

松田 まあ、でも今は金属サスになつてくるからなあ。

下河辺社長 金属サスはメンテナンスがいらないから最高に喜ばれますね!性能も素晴らしい。いや、前にこんなことがありましてね、ある大手の会社が荷物に口ガー(計測器)が入つていて、振動データを採つていたんですよ!その結果は運送中の温度・振動とも問題はなかったのですが、次の依頼があった時、その大手の社内から待ったがかかりましてね。正式な取引口座がなかった為でした。が、しばらくして弊社に企業調査が入りましたが正式に契約を結ぶことができました。今もお取引いただいています。

松田 その調査で、社長さんの会社を評価いただいたんだね。

下河辺社長 うちが精密機器輸送に特化していますので、お客さんも高価な荷物を依頼してくるんですが、ある会社は、自分たちで何十万もする防振台車を使っていました。これが性能があまり良くないんですよ。それに比べて、この商品(防振平台車)は高くないからお客さんに喜ばれるし、性能も抜群にいいですからね。

松田 安くていいものを提供できるのは、ありがたいことだね。

下河辺社長 うちのお客さんは、北は北海道から南は沖縄まで。(沖縄まで納品した話が続く)大抵は横のつながりで依頼が来たり、あと紹介も多いですし、インターネットからもきます。

松田 インターネット、オレは全然ダメね(笑)

下河辺社長 僕もそうですよ(笑)



(ちなみに下河辺社長と松田は同学年でした!)

これを時代の流れでしょう、か、ITの世界は、餅は餅屋じゃないけど、今の若い人達に任せられた方が良いと思います。うちはITの詳しい人を入れてインターネットの方は一切任せます。今はネットから依頼がきて、メールでやりとりの世界ですからね。一つ一つ、細かいところまで確認してやっています。

松田 でもすごいよね、うちにもいろんな所から問い合わせが来るからね。最近では中国、トルコ、インドとか全世界だもんなあ。

下河辺社長 中国ではエアサス車がほとんど走つてないようですが、中国へ輸出する企業の中にはまだまだ防振が必要じゃないかと思えますよ。特に、精密機器を輸出する企業は、防振効果がある松田さんの防振台車を使ってほしいです。本当にもっと多くの人に知って欲しいですね!

松田 じゃあ、これからは東南アジアの輸送にも社長さんの活躍を期待していますよ!

エポックトランスポート株式会社
東京都新宿区早稲田鶴巻町501
石塚ビル1F
TEL03(5286)7131

2013年1月11日 記

※この新聞名は架空のものです。